

- 問1 岐阜県の県境付近にそびえる山々を水源とし、伊勢湾などの海へ注ぐ木曽三川（木曽川・長良川・揖斐川）などの河川について、その地理的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. 水源から河口まで一貫して緩やかに流れを保ち、大規模な水運の拠点となっている

2. 山間部から直接東へ流れ、県境を越えることなく最短距離で太平洋へ注ぐ

3. 火山のある半島を迂回するように流れ、広大な平野で大規模な稲作を支える

4. 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通じて海へ注ぐ
- 問2 福井県南部の若狭湾で見られる、山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで形成された複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。また、その地形の利点を踏まえて答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 砂州

2. カルデラ

3. 三角州

4. リアス海岸
- 問3 静岡県島田市の地形図において、権現原周辺に茶畑の地図記号が広く見られる理由として、この地域の自然環境や地理的条件から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。

2. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に湿潤な土地を好む茶の性質に合っているため。

3. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。

4. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。
- 問4 河川が山地から平野や盆地に出た場所では、流れが緩やかになることで運搬されてきた土砂が堆積し、扇形の地形が形成されます。山梨県の甲府盆地の縁などで多く見られる、このような地形の名称として正しいものを答えてください。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 扇状地

2. 台地

3. 三角州

4. カルデラ
- 問5 中部地方で見られる「6月から10月にかけての収穫量が、11月から5月の収穫量を大幅に上回る」というレタスの生産状況を説明した文として、適切なものはどれか、選びなさい。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている

2. 機械化が進んだ大規模な農地で、年に2回異なる農作物を栽培している

3. 冬の温暖な気候とビニールハウスを利用した促成栽培が行われている

4. 大消費地である東京や名古屋に近いため、通年で新鮮な野菜を出荷している
- 問6 中部地方の内陸部に位置するある県では、農産物の収穫量において米が約2万7000トンであるのに対し、ブドウが約4万3000トンに達するなど、果樹栽培が極めて盛んです。ブドウの生産量が日本一であるこの県はどこですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
1. 長野県

2. 山形県

3. 青森県

4. 山梨県
- 問7 2014年の工業統計において、愛知県と静岡県の製造品出荷額の内訳を確認すると、ある共通の工業部門が非常に高い割合を示しています。特に愛知県では県全体の出荷額の約半分を占めるこの工業部門の名称として、正しいものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 金属製品製造業

2. 輸送用機械器具製造業

3. 繊維工業

4. 電子部品・デバイス工業
- 問8 福井県において、北陸新幹線の延伸開業に向けた整備が進められている主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. リニア中央新幹線の代替路線として、世界最速の時速500kmでの営業運転を実施するため。

2. 高速輸送ネットワークを構築し、関東や近畿などの大都市圏との移動時間を短縮して交流を促すため。

3. 在来線の特急列車をすべて廃止し、県内の移動を新幹線のみに限定して運営の効率化を図るため。

4. 貨物列車の専用路線を確保することで、農産物や工業製品の長距離輸送コストを大幅に削減するため。
- 問9 中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 長野県

2. 富山県

3. 福井県

4. 石川県
- 問10 日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。（2021年 北海道公立入試 類似）
1. 富山県

2. 長野県

3. 埼玉県

4. 新潟県
- 問11 新潟県や富山県といった北陸地方の県における、土地利用の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。耕地面積全体に占める「田」と「畑」の割合に着目して答えなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある

2. 耕地面積のうち、田と畑がほぼ50%ずつで、混合農業が盛んである

3. 果樹園などの畑地利用が中心であり、田の面積は10%未満である

4. 都市化が進んでいるため、田の面積は耕地全体の30%以下に留まっている
- 問12 岐阜県の白川郷に見られる「合掌造り」の家屋は、屋根の形が手を合わせたような急傾斜になっています。このような独特な建築様式がこの地で発達した理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）
1. 山間部で平地が少ないため、屋根の傾斜を急にして建物の高さを出し、居住スペースを縦に広げるため

2. 夏に発生する激しい上昇気流による雷雨から家屋を守り、雨水を素早く地面に流す必要があったため

3. 冬の積雪が非常に多く、屋根に積もった雪の重みによる倒壊を防ぐとともに、雪下ろしの負担を軽減するため

4. 日本海側から吹きつける強い季節風を受け流すことで、建物全体の揺れを抑えて耐久性を高めるため
- 問13 近年、日本の地方都市では、自動車への過度な依存を抑え、鉄道やバスなどの公共交通機関の拠点周辺に行政・福祉・商業などの機能を集約させる都市づくりが進められています。このような、徒歩や公共交通で日常生活に必要な機能を利用できる効率的な都市形態を何と呼びますか。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. ニュータウン

2. コンパクトシティ

3. メガロポリス

4. スマートシティ
- 問14 富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため

2. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石炭を安く利用できたため

3. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため

4. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通して海へ注ぐ	岐阜県の主要な河川は、水源となる山地から流れる過程で、上流部では急峻な地形により渓谷を形成します。その後、地形の影響を受けて流路を西へと大きく変え、三重県などの隣接する県を貫通して海（伊勢湾）に注ぐという特徴的なルートをたどります。
問2	答え 4 リアス海岸	若狭湾は、リアス海岸と呼ばれる複雑な海岸線を持っており、波が穏やかな入り江が形成されやすいため、天然の良港として漁業や船舶の避難場所などに利用されてきました。福井県から京都府にかけての海岸線にこの特徴が強く見られます。
問3	答え 4 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。	茶の栽培には、年間を通じて温暖な気候であることと、根腐れを防ぐために水はけ（透水性）が良い土地であることが重要です。島田市を流れる大井川周辺の台地や斜面は、砂礫質の土壌が多く水はけに優れているため、大規模な茶園が発達しました。選択肢にある「図書館が南にある」といった情報は土地利用の直接的な理由にはなりません。
問4	答え 1 扇状地	川が急峻な山地から平坦な土地へと流れ出る際、流速が落ちることで土砂が堆積して「扇状地」が作られます。この地形は等高線が山側を頂点として扇形に広がっているのが特徴で、山梨県などの盆地の境界付近によく見られます。
問5	答え 1 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている	中部地方（特に長野県や群馬県の高原地帯）では、夏の涼しさを利用して野菜の成長を遅らせ、他の地域が暑さで生産できない時期に出荷する「抑制栽培」が盛んです。これにより、夏のレタス市場において圧倒的なシェアを占めています。
問6	答え 4 山梨県	中央高地に位置する山梨県は、周囲を高い山々に囲まれた盆地が広がっています。降水量が少なく日照時間が長いという内陸部特有の気候に加え、甲府盆地の縁に広がる水はけの良い地形を利用することで、米よりも付加価値の高いブドウやモモなどの果樹栽培が発展しました。
問7	答え 2 輸送用機械器具製造業	中部地方、とりわけ東海地方の工業は、自動車や鉄道車両、船舶などの製造を指す「輸送用機械器具製造業」が中心です。愛知県の豊田市を中心とした自動車産業や、静岡県での二輪車・自動車部品の生産が盛んであり、製造品出荷額において他部門を圧倒する規模を誇ります。このため、日本の工業地帯・地域の中でも中京工業地帯や東海工業地域は高い出荷額を維持しています。
問8	答え 2 高速輸送ネットワークを構築し、関東や近畿などの大都市圏との移動時間を短縮して交流を促すため。	北陸新幹線の福井・敦賀方面への延伸は、すでに開業している金沢方面からのネットワークを広げ、東京などの首都圏や関西圏・中京圏とのアクセスを劇的に改善することを目的としています。これにより、観光客の誘致促進、ビジネスの効率化、さらには災害時の代替ルートとしての機能確保など、地域経済の活性化と国土の強靱化が期待されています。
問9	答え 4 石川県	中部地方の中でも北陸地方に位置する石川県は、特定の産業に特化した中京工業地帯の県とは異なり、電子部品や機械、食料品などがバランスよく生産されているのが特徴です。また、伝統的工芸品から発展した機械工業や、良質な水を活用した食料品製造も盛んに行われています。
問10	答え 4 新潟県	越後平野は日本有数の稲作地帯であり、この平野を抱える新潟県は米の生産量が全国トップクラスです。また、戦国時代には上杉謙信がこの地を治めていました。選択肢にある長野県と埼玉県は内陸県であり、富山県は新潟県の隣に位置しますが越後平野は含みません。
問11	答え 1 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある	北陸地方は日本を代表する米どころであり、特に新潟県などの統計を見ると、耕地面積の大部分を田が占めていることがわかります。具体的には、耕地全体のうち80%以上が田となっており、これは冬の積雪の影響で裏作（冬の間に別の作物を育てること）が難しく、米の単作地帯として発展してきた歴史的・気候的な背景が影響しています。
問12	答え 3 冬の積雪が非常に多く、屋根に積もった雪の重みによる倒壊を防ぐとともに、雪下ろしの負担を軽減するため	白川郷は周囲を高い山に囲まれた山間部にあり、冬には数メートルもの雪が積もる豪雪地帯です。水分を含んだ雪は非常に重いため、屋根の傾斜を45度から60度という急角度にすることで、雪が自然に滑り落ちやすくしています。これにより、家を守るだけでなく、過酷な雪下ろし作業の回数を減らす工夫がなされています。また、この広い屋根裏を活用して、かつては養蚕（かいこを育てること）が盛んに行われていました。
問13	答え 2 コンパクトシティ	人口減少や少子高齢化が進むなかで、郊外に分散した都市機能を維持することは行政コストの増大を招きます。そのため、主要な駅やバス停の徒歩圏内に施設を集約し、公共交通を軸に結びつけることで、持続可能な都市を目指す取り組みが多くの自治体で検討されています。
問14	答え 4 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため	アルミニウムの製錬は「電気缶詰」と呼ばれるほど大量の電力を消費します。富山県は北アルプスなどの山々から流れる急流河川に恵まれ、水力発電による安定した電力供給が可能であったため、高度経済成長期を中心にアルミニウム工業が大きく発展しました。